

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (四国)	良く なっている やや良く なっている	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新生活シーズンを迎え、需要が高まっている。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・中食としての利用が上向いている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・3月は天候と気温に恵まれて割合快調に動いた。来店数も相当増え、そこそこ良かったが、最後の1週間は相当厳しかった。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・12～2月は宿泊客の出足が悪かった。3月に入って依然として団体客が減っているものの、個人客が順調に推移し客足が戻ってきた。海外情勢が非常に不安定なことから国内旅行にシフトする動きがあり、個人客に若干明るさが見えてきた。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今年は逆打ちの年ということもあり、春になってお遍路の仕事が増えてきている。街も春になり動きが出ているので、少しは良くなっている。
	変わらない	一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・単価の安い商品がよく動く。個人消費は良いとは言えないが、企業の粗品などが増えてきた。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・物産展がけん引し食品が好調である。衣料品も前月比で改善傾向であるが、高額品が苦戦しており、売上回復には至っていない。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・商品単価を下げて販売数量が予想ほど伸びていない。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・来店客数はほぼ前年並みで推移しているが、客単価が若干下がっているため売上高は前年比で厳しい状況になっている。原料高騰による値上げから1年経っていないため、買い控えなどが見られる。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・来客数の前年割れが続く、依然回復傾向にはない。
		コンビニ（商品担当）	競争相手の様子	・コンビニ業界の競争環境はさらに厳しくなっているが、競争相手も含めて苦戦している。
		衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・客数が前年比10%程度のマイナスで推移している。通行量も減っており、販売機会が減少している。気温の変動が大きく購買意欲が低下しているように感じる。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・例年、年度末には新車販売が大幅に伸びるのだが、今年は平常月とあまり変わらない。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・3月の軽自動車届出実績は、前年が軽自動車増税前の駆け込み需要で拡大したが、今年は大変厳しい状況にあり需要の停滞が続いている、前年比で83～85%と大きく割り込む見込みである。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・3月は決算期ということもあって登録数が増え、販売量と一台当たりの単価は上昇している。景気が良くなっている実感はあるが、やはり4月以降を見てみないと分からない。勢いは出てきたように感じる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	お客様の様子	・春休みに入り、もう少し人出があっても良さそうなものだが、活気に欠ける。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・北陸新幹線や、訪日外国人が東京、大阪、京都あたりを周遊するなど、地域によっては人気が出ているが、四国は全体的に客が増えていない。
		旅行代理店（営業部長）	来客数の動き	・桜の開花時期を迎え、インバウンドはさらに増加傾向にある。4月上旬は国際線の予約が取りにくくなっている。
		通信会社（支店長）	販売量の動き	・予想よりも販売量が多く、景況感は悪くなっているとは感じていない。
		通信会社（企画）	お客様の様子	・加入数は増加しているが、季節要因が大きく、客の反応は例年と変わらない。
ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・予約状況は、3か月前より少しは良くなると予想していたが、あまり伸びがなく、停滞状況にある。		
美容室（経営者）	お客様の様子	・来客数、客単価共に低いままである。		
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・3月に入って暖かい日が続いたかと思えば、花冷えの日もあって、春物の売上がかなり遅れている。冬物から春物への切り替えができず、いきなり夏物商戦になりそうな感じで、天候不順がかなり影響している。	

	商店街（代表者）	お客様の様子	・テロ、為替や原油価格の乱高下、アメリカの利上げ、マイナス金利などの情報に経済が振り回されている。今後もこのようなネット社会のマイナス効果で景気は落ち着きを取り戻しにくい。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・若年層におけるレジャー等の多様化から、顧客動向の鈍化を感じる。携帯電話を中心とした生活により、遊びが室内化され、消費が鈍くなっている。	
	商店街（事務局長）	販売量の動き	・世界的に金融や情勢が不安定化しており、年明け以降の景況感に影を落としている。大手企業も今年は賃上げに慎重であり、地方や中小企業にとっては景気の追い風は更に遠のく印象である。	
	一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・本当に商品が動かない。繁華街の人も悪く、4月の歓送迎会に期待したい。	
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・買いたい物しか買わない客が多く、買い回りをする人が少ない。なかなか厳しい状況である。	
	スーパー（財務担当）	販売量の動き	・単価上昇で売上を維持しているが、買上点数は前年比マイナスが続いている。	
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・2月に比べて3月は売れないといけないのだが、来客数がかなり少ない。同業者でもやはり客が来ないらしく、消費税増税以降、景気がかなり悪くなった。	
	家電量販店（店員）	単価の動き	・定期的に販売量は増えているものの、低単価商品の割合が高く、厳しい。	
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の受注状況は前年を下回って推移している。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・現状はやや悪くなっている。乗客からは、歓送迎会が1次会で終わり、2次会のセッティングが無いという話を聞く。	
	通信会社（社員）	販売量の動き	・安倍首相の携帯電話値下げ発言を受け、携帯電話各社から新たなプランや携帯電話機の価格見直しが行われたが、客が様子見をしているのか、年間で最も需要の高い3月のこの時期に販売数が伸びていない。	
	競艇場（職員）	販売量の動き	・3月の売上は、前月比6%、3か月前比17%、前年比16%それぞれ減少した。3月は日々の売上が少なく、入場者も少なかった。特に、今年最初のSGレース（場外発売）において3連休の売上が伸びなかった。	
	悪くなっている	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・外商は大きく売上を伸ばし、対前年同月比プラスになった一方、店頭売上が前年を大きく割り込んだ。全体では前年同月比マイナスになった。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・依然として前年比マイナスが続いている。例年3月は売上増加になるはずが増えていない。
企業動向関連 (四国)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（商品統括）	受注価格や販売価格の動き	・販売価格値上げによる販売量の減少等の影響が薄れてきており、価格アップの要望が通りやすくなっている。
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・2月以降の動きが上向いてきている。春物の新柄が好評で、買い取りが増えている。
	変わらない	木材木製品製造業	取引先の様子	・住宅ローン金利が下がる等、好条件の環境にあるものの大きな需要にはつながっていない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・インパウンドの影響がありながら、売上がもうひとつ伸びていかない。
		電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・販売量は増加しているが、年度末という季節要因を考慮すると、好況との判断はし難い。また、収益面については、製品構成の関係もあり、若干の低下傾向が見られる。
		建設会社（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注高、売上高共に増えているが、景気は変わらない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらず、官民共に工事そのものが少ない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・やや悪くなると見込んでいたが、2～3月にかけて、公共事業の発注量が予想以上にあったことで、受注量、手持仕事量が大きく減少することを回避できた。
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・あまり変化を感じられない。
	金融業（副支店長）	取引先の様子	・年度末という季節要因のもとで取引先の運転資金需要は例年並みであったが、設備投資など前向きな資金需要は少なかった。	

	公認会計士	取引先の様子	・前年より若干悪くなっている取引先が増えているが、例年とほとんど変わらない状況である。	
やや悪くなっている	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・需要が少なく、低価格での受注競争となり、受注量、価格共に厳しい状況が続いている。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内は好調一本やりからまだ模様になり、海外需要も減少傾向にある。	
	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・3月は年度末の繁忙期であるとともに、引越し需要もあって取扱物量が増大する時期なのに、今年は物量に著しい増大は見られず、昨年同様に取扱物量の落ち込みを実感する月となった。特に運送業者に頼むべきところの引越しを、家計節約の為にレンタカーを借りて自前で行う人が例年に比べ目立って増えた事からも景気の低迷を強く感じる。	
悪くなっている	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・年度末は物量は多くなるはずだが、荷動きは全く良くならない。また、個人貨物である引越荷物の件数及び1件当たりの物量も減少している。	
雇用関連	良く なっている	-	-	
(四国)	やや良くなっている	民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・就職活動の開始が早まったことも影響していると思われるが、求人票の動きが例年と比べると非常に早くなっている。企業側から、求人票の受付はいつから始まるのかという問合せが多くなっている。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・長期的、短期的な仕事共に増加しているが、求職者数が減少しており、景気は現状を維持している。
		求人情報誌（営業）	求人数の動き	・大手から中小まで業種、職種を問わず求人数が高止まりしている。中途、新卒、正社員、パートとも人員不足が続いている。給与を高く出せる大手が比較的採用できているが、それでも人員不足が続いている。さらに地元資本の中小は補充する手段が限られているため、求人難は変わらなし。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・各企業からの売上がある一定レベルからは下がっていない。
	職業安定所	それ以外	・2月の月間有効求人倍率は1.38倍で、3か月前の11月から僅か0.03ポイントの上昇にとどまった。	
やや悪くなっている	-	-	-	
悪くなっている	-	-	-	